

<応用物理学会特別企画シンポジウム>

応用物理学の将来ビジョン

ーアカデミックロードマップと発展史マップー

将来ビジョン検討 WG.

委員長 荒川 泰彦 (東大)

わが国の科学技術の発展に向けて、学会として長期的ビジョンを共有することは有意義なことです。応用物理学会では、2006年から、「応用物理における将来ビジョン（アカデミックロードマップ）」の策定作業を進めており、2007年に第一版を公表し、現在改訂版の作成に取り組んでいます。特に、今回は、将来を展望するのみならず、新たに科学技術史の観点から各分野の歴史的発展をまとめた発展史マップを発行します。過去を踏まえ未来を展望することにより、応用物理の将来ビジョンを明確化することができるものと考えております。

本シンポジウムでは、各要素技術・横断型クラスターが、それぞれのアカデミック・ロードマップ（改訂版）と発展史マップ（第一版）を報告致します。また、経済産業省の土井良治課長に、特別講演「産業技術戦略からみたアカデミックロードマップへの期待」を冒頭にお願いしています。

日時: 2010年3月18日(木) 10:00~18:00

場所: 東海大学湘南キャンパス 2号館 1F・2N101 (TB会場)

要素技術クラスター

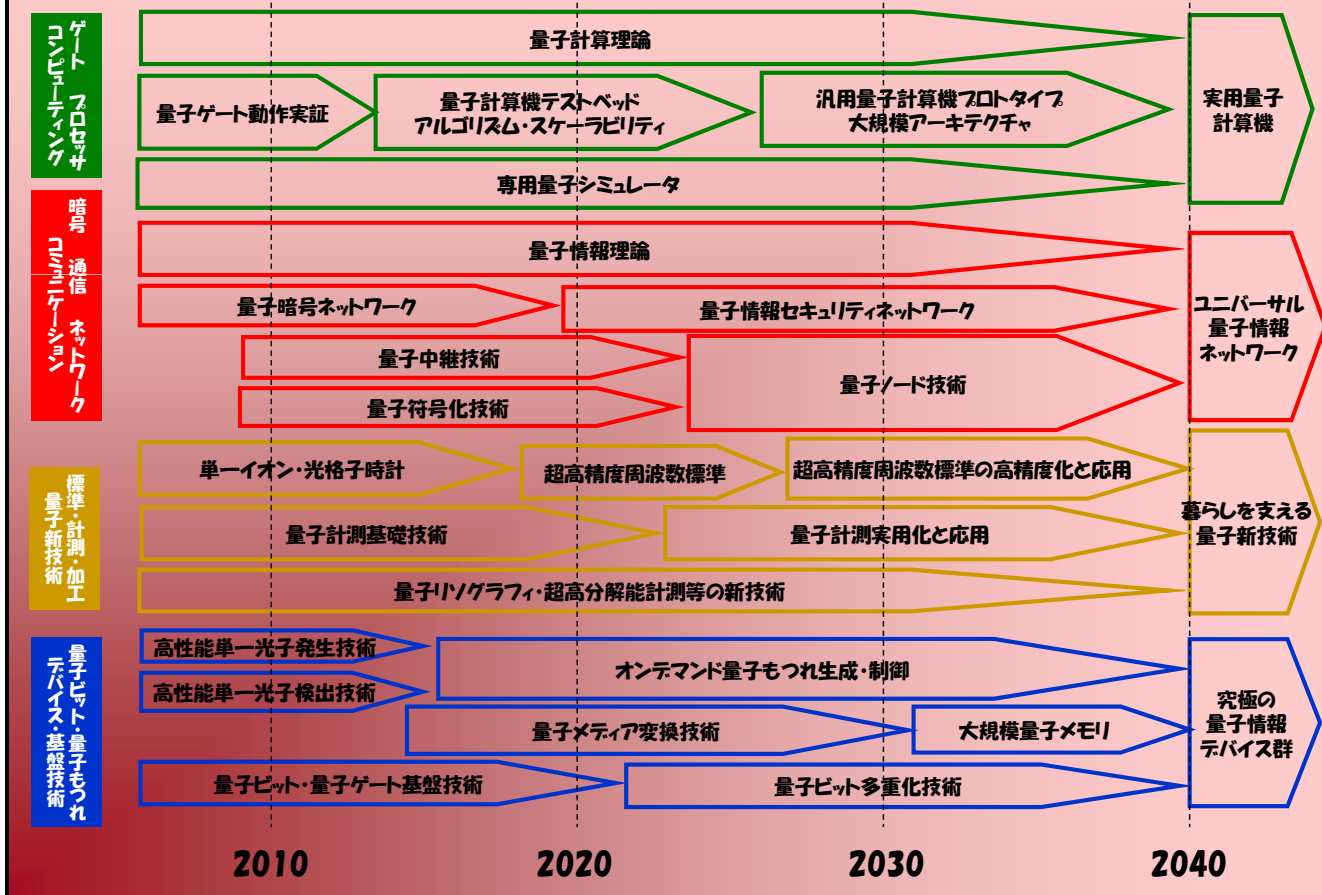
1. シリコン技術
2. 有機・分子エレクトロニクス
3. テラヘルツエレクトロニクス
4. 量子情報・物理
5. フォトニクス
6. オプティクス
7. 放射線理工学
8. ワイドギャップ半導体エレクトロニクス
9. 結晶成長技術
10. プラズマ・プロセス技術
11. 磁性・スピントロニクス

12. バイオエレクトロニクス
13. マイクロ・ナノメカトロニクス
14. ナノ構造技術
15. 超伝導技術
16. 食糧技術

横断型クラスター

17. 医療エレクトロニクス
18. 環境・エネルギー技術
19. 人材育成
20. 安心・セキュリティ

アカデミックロードマップの例 ~量子情報・物理~



発展史マップの例 ~量子情報・物理~

